



2021年6月末号

三段ひな飾りを寄贈 していただきました

5月20日、NabiChan サポーターさんのお知り合いの方から、「三段雛飾り」をいただきました。とても大切にされていたことが伺えるお雛様飾り。

雪洞に明かりが灯るだけでなく「うれしいひなまつり」のオルゴールも付いて、とても素敵なお飾りです。



来年、コロナ禍が収束すれば、2～3月に「なばりえ」に来られたみなさんにお披露目するとともに、外国人住民の方々には、交流の集いなどで、日本文化の紹介のひとつに活用させていただきます。

このような交流の集いを企画するにあたって、「日本の文化として季節の行事に使用する物、お貸しください」と発信することもあるかと思いますので、その節は是非ご協力をよろしくお願いいたします。

☆6月1日付市内外国人住民数

1061人 (3月比-14) 35か国

フィリピン218 中国208 ベトナム144

韓国朝鮮123 ブラジル115

インドネシア52 他201



ご存じですか？



※日本における外国人技能実習制度には「企業単独型（日本の企業が直接実習生を受け入れ、様々な手続き、日本語教育を含む配属前講習等を実施する）」と「団体監理型（営利を目的としない事業協同組合等の中小企業団体が「監理団体」となり、技能実習計画の作成等受け入れに必要な手続き、教育指導等の入国から帰国までに必要な様々な業務を行う）」があります。

6月現在で市内の団体監理型技能実習生は235人ですが、ほとんどが市外や他府県の監理団体の受け入れによる市内在住者です。名張市内には2つの監理団体（外国人技能実習生の受け入れ資格を持つ団体）がありますが、監理団体として登録されてまだ1年余りということで、今は受け入れ人数もわずかです。5月12・26日に両団体から貴重なお話を聞くことができました。

現在のコロナ禍により、受け入れにも影響が出ており、母国で待機している実習生もいるという。どちらの団体もアジア圏からの受け入れ。実習場所は名張市内だけではなく、奈良県や愛知県、岐阜県と様々。建設業を中心に、農業や介護の企業、事業所に就いているそうです。監理団体として、1週間に一度は実習生を訪問し、生活状況の把握やアドバイス、また季節に応じて日本文化や景色の紹介に同行しているということで、支援が十分にされていると感じました。両団体とは今後も連携を図り、「外国人に来て貰って良かった」「日本へ来て良かった」と、互いにそう思える環境整備に努めていきたいと思います。



2021年9月末号

三重県にも

緊急事態宣言発出

8月27日～9月30日

☆9月1日付市内外国人住民数

1042人 (6月比-19) 35か国

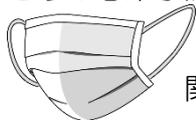
フィリピン213 中国201 ベトナム153

韓国朝鮮121 ブラジル114

インドネシア46 他194



8月中旬頃から、三重県内でも新規コロナ感染者が急増し、8月27日に緊急事態宣言が発出されました。当初は9月12日までの予定でしたが、県内の新規感染者数や病床使用率等から、9月30日まで延長されることになりました。コロナワクチン接種が進んできたとはいえ、まだまだ一人ひとりが感染予防対策をしっかりとらなくてはならない日々が続きます。



NabiChanでは、8月22日に、以降の日本語教室や学習教室の休講を決定し、関係の皆様ご連絡をさせていただきました。ご理解ご協力、ありがとうございます。

母国ミャンマーへの願い・・・

ご存じの通り、彼女たちの母国であるミャンマーでは、2月に軍によるクーデターが起り、そのことをめぐって世界の各都市で民主化回復への支援を訴えるデモが行われてきました。クーデターで権力を握った国軍に対抗し、民主派が樹立した「統一政府」は、9月7日、国軍に対する「戦闘開始」を宣言し、国民に蜂起を呼び掛けました。



一方で、コロナ感染も極めて深刻化している状況だそうです。コロナ禍で、ただでさえ心穏やかに過ごせない今の世の中にあって、母国の現状も重なるとその心はいかばかりかと想像に難くありません。

7月の日本語教室では、季節行事の「七夕祭り」を取り上げ、各クラスでその由来や意味を学び、生徒さんたち一人ひとりが願いを短冊に書いて笹につるすという体験もしていますが、彼女たちは「ミャンマーが早く平和になってほしい」と願います。

そんな折、ミャンマー国籍の日本語教室に通う生徒さんお二人から、実習先の会社で製造している手指消毒剤をNabiChanにいただきました。(名張市内にはミャンマー国籍の人たちが40人以上、生活しておられます) 市民情報交流センター内で、来館者の方、スタッフともに使わせていただいています。

ありがとうございました。



外国人住民のワクチン接種

NabiChan では、昨年度から「外国人住民に対して、ワクチン接種券の発送については多言語で」と市に提言していましたが、4月からの65歳以上の発送分については、間に合いませんでした。

その後64歳以下の発送までに、NabiChan が指摘してきた「日本語が読めず開封前に破棄してしまう」「開封しても中身がわからず放置してしまう」という懸念を、市のワクチン担当課とも共有することができました。NabiChan と市の多文化担当職員が連携して具体策を講じ、64歳以下の外国人住民に対する接種券発送時の対応が実現しました。(下記A・B)

(A)封筒の表面に「ワクチン接種のお知らせ」を、裏面には「必ず開封してください」を **NabiChan サポーターさん協力のもと作成した英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語の多言語表記シール**を貼付して発送しました。 **ご協力いただいたサポーターさんありがとうございました。**

(B)封筒内には、接種券等一般の内容物とともに、下記のをプラスして外国人住民に発送しました。【 60~64歳①②③ ・ 16~59歳①②④⑤⑥ ・ 12~15歳① 】



①接種のお知らせ：**NabiChan 作成「やさしい日本語版」**

②ファイザーワクチンの説明書：厚労省「やさしい日本語版」&三重県「みえ外国人コロナワクチン相談ダイヤル」

③**名張市多文化共生センター案内チラシ片面版** (NabiChan 周知のため)

④市の外国人住民へのアンケート用紙に、厚労省「予診票・ワクチン説明書」の多言語サイトのQRコード貼付

⑤モデルナワクチンの説明書：厚労省「やさしい日本語版」

⑥**名張市多文化共生センター案内チラシ両面版** (NabiChan 周知のため)



また、集団接種会場では≪「接種後の注意点」：**NabiChan 作成「やさしい日本語版」**≫を外国人住民に対して配布し、理解を深める手立てを講じました。

※ホームページ・Facebook・LINE で、ワクチン接種の内容についてはその都度発信しました。

≪NabiChan 7~9月現状報告≫

●利用者総数 238名

・生活等相談件数 33件

・通訳・翻訳依頼件数 8件

・日本語教室・学習教室利用者数 延べ75名

●サポーター登録者数 73名 ※9月末現在

●他の活動概要

・7/4「七夕祭り」ads・毎日新聞・中日新聞 取材

・7/11「日本語NabiChan教室」YOU 取材(8月掲載) →→→→

・7/14 みえ市民活動ボランティアセンター来館 意見交換

・7/25「名張で暮らす外国人住民・日本語教室」ads 取材

・8/1 中国コミュニティ交流サロン実施 ※今後、他の国籍交流サロンも計画中

・8/7 学習教室 ads 取材

・9/5「【多文化×災害×地域】分野を超えてオンラインでつながる研修交流会」パネリスト





ベトナムコミュニティ交流サロンを実施しました。

12月12日(日)15:30~16:30にベトナム交流サロンを実施しました。コロナ禍ということで多くの参加を求めることはしませんでした。NabiChanと日頃からつながっている方々に声をかけ、赤ちゃんを含め8人のベトナム人の方、日本語教室や市教委の先生たち3人、そして私たちスタッフ2人が参加しての交流会になりました。



初対面の方もいて、和やかな雰囲気づくりに最初は画像遊びから始め、アイスブレイキングで席替えと自己紹介を兼ねたネームキャッチボール・・・と、大笑いもしながら楽しい時間を共有することができました。好きな日本の食べ物紹介では、やはりお寿司と焼き肉が人気。味噌汁が一番好きという方もおられました。



交流の時間には、困ったことや行ってみたいところなど自由に話が進み、あっという間に1時間が過ぎました。終了後、各々で連絡先等を交換し合う様子が見受けられ、新たなつながりができたように思います。あってはならないことですが、万が一災害等が起こった時に、このつながりが役に立つことを願っています。来年は、ベトナムをはじめ、他の国の交流サロンも定期的開催したいと思っています。

皆さん、わが国では12月4日から10日までを「人権週間」と決められていることをご存じでしょうか？

国連総会で「世界人権宣言」が取り上げられたのが今から73年前。それを記念して、1950年に12月10日を人権デーと国連総会で定められました。日本では世界人権宣言採択の翌年の1949年に、上記の一週間を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動が行われてきました。12月10日は、日本だけでなく世界の色々なところでも「人権」について考える日になっています。



名張市でも、昨年度からのコロナ禍の影響で、例年とは形を変えて「人・愛・エール ナバリエール2021」と銘打ち、市内各機関・団体等からコロナ禍における人権メッセージを発信しました。

NabiChanにおいても、10月に入ってから「何を発信する?」「どんな形で?」「スタッフが出て声を大にして叫ぼうか?」など、実はいろいろと考えてきました。でも、名張市の特設サイト内(名張市公式 SNS=YouTube チャンネル)でビデオを市民の方が観るというのであれば、NabiChanとしてはやはり外国人住民の方が登場し、今の思いを語っていただくのがよいのでは、ということで3人の外国人住民の方々にご協力いただきました。

名張市人権週間「ナバリエール 2021」

〜〜〜外国人住民に聞く！〜〜〜

「名張市に住んで、今思うこと」



12/31 まで放映中



ご覧になった方も多いと思いますが、「名張市に住み始めたころの話」「コロナ禍での生活」「コロナに感染したときのこと」「ワクチン接種券が届いたけれど」「コロナが収束したら」「外国人住民や地域住民のためにできること、したいこと」などを語っていただきました。

初めて住む地域で、「言葉も話せない」「地域の生活ルールも知らない」「誰に聞いたらいいのかもわからない」という環境の中で暮らし始める大変さは、自分が外国で暮らすことになった時のことを想像すれば容易にわかります。お互いに相手の気持ちを思いやり「あなたにいいまちは わたしにもいいまち」を確信して、「ともに暮らしよい名張市」の実現をめざしたいですね。

☆12月1日付 市内外国人住民数 **1031人** (9月比-11) 35か国
フィリピン211 中国187 ベトナム166 ブラジル122 韓国朝鮮120 タイ42 他183



《NabiChan 10~12月現状報告》

数字は12月26日現在

- 利用者総数 312名
 - ・生活等相談件数 24件
 - ・通訳・翻訳依頼件数 11件
 - ・日本語教室・学習教室利用者数 延べ106名
- NabiChan サポーター登録者数 74名
- 他の活動概要
 - ・11/7 ナバリエール 2021 収録
 - ・12/12 ベトナムコミュニティ交流サロン実施

NabiChan は年末年始
12/27~1/4
お休みです。

2021年も残り僅かになりました。今年も新型コロナウイルスに振り回された1年でした。サポーターの皆様には、通信を読んでいただき、またそれぞれのお立場で支えていただき、本当にありがとうございました。
どうぞ よいお年を お迎えくださいませ。



2022. 1. 30

NabiChan スタッフとして

一緒に働いていただける方を募集します！



新しい年を迎え、早1ヶ月が経とうとしています。サポーターの皆様には、昨年同様、NabiChanの活動に対し、ご理解ご協力、またご助言をよろしくお願い申し上げます。

NabiChanも4月から3年目の活動が始まります。コロナ禍ではありますが、サポーターの皆様のご支援を得て、活動をさらに充実したものにしていきたいと思っています。

そこで、4月からNabiChanのスタッフとして一緒に働いていただける方を、**1名募集**いたします。仕事内容、労働条件等は以下の通りです。

《仕事の内容》

◎多文化共生センター事務

「日本語教室及び外国人交流の運営」「各種相談」「業務の受付、記録」

「ホームページ等の更新」「通信発行」「市人権・男女共同参画推進室との連携」等

〇人権センター、男女共同参画センター、市民活動支援センターの各事務サブ

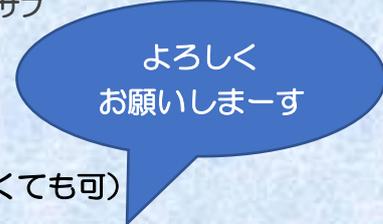
「来館者や電話等の対応補佐」

《必要な経験等》

- ・Word、Excelを含むパソコンの基本操作ができる方
- ・日本語・英語以外の言語ができる方が望ましい（できなくても可）

《労働条件等》

- ・時間給 940円
- ・加入保険 雇用 労災
- ・通勤手当 規定による
- ・就業時間 9:00~17:00の間の4時間
- ・勤務日数 週3日（週2~4日 応相談）
- ・休日 月曜日（休館日） 年末年始休暇 12/29~1/3
有給休暇 有り（所定労働日数による）



《応募受付等》※応募者複数の場合は、書類・面接等により決定いたします。ご了解ください。

- ・2022年3月10日（木）まで ※面接予定日 3月17日（木）15:00~

関心のある方は、まずはNabiChanまで

電話、E-mail、LINE、Facebook メッセージのいずれかでご連絡ください。

NabiChan



電話：0595-64-6711

E-mail：tabunka@emachi-nabari.jp

LINE：@788bfpdh

Facebook：<https://www.facebook.com/tabunka.nabari>





2022年3月末号

募金箱を設置しています

2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻。停戦に向けた両国の協議が進展せず、いまだ先が見通せない状況が続いています。3月上旬から日本赤十字社三重県支部名張市地区が、避難者を受け入れている周辺国での救援活動を支援するため、名張市役所などで募金を呼び掛けています。

NabiChanにも募金箱を設置していますので、ご周知ください。



2022年度 NabiChan スタッフの異動について

4月からNabiChan スタッフのメンバーが交代します。松崎瑠美を中心に、3人体制になりました。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【退任】

手塚倫生

2020年の開設準備から、大変お世話になりました。コロナ感染拡大もあり、交流会や関係団体との連携等、十分にできなかったことが心残りですが、サポーターの皆様から多大なお力添えをいただき、楽しく勤めさせていただきました。心よりお礼申し上げます。これからもNabiChanをよろしくお願いいたします。

【着任】

中野実香

こんにちは。4月からNabiChan スタッフの一員になります中野です。皆様のご要望やお困りごとなどに対し、少しでもお役に立てるよう「親身な対応」をモットーに頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

王 可心

私は、王 可心（おう かしん）と申します。出身は中国です。日本に来て12年になりますが、この間、周りの人が色々教えてくれて本当に感謝しています。この度NabiChanの一員になってとても嬉しいです。微力な私でお役に立つことができれば非常に有意義なことだと思います。どうかよろしくお願いいたします。

☆ 3月1日付 市内外国人住民数 **1019人** (12月比-12) 35カ国

フィリピン 205 中国 182 ベトナム 179 韓国朝鮮 117 ブラジル 116 他 220



《NabiChan 1～3月現状報告》

●利用者総数 197名

・生活等相談件数 20件

・通訳・翻訳依頼件数 14件

・日本語教室・学習教室利用者数 延べ48名

●NabiChan サポーター登録者数 78名